

Facilities

月刊体育施設

[スポーツファシリティーズ]

(公財)日本体育施設協会監修

10月号

2013.OCT

Sports

施設紹介

秋葉山公園県民水泳場  
(あきばさんプール)

連載

指定管理者制度導入事例に迫る  
[北広島町豊平総合運動公園]

好評発売中!  
たいく堂  
書店

祝!東京オリンピック・パラリンピック開催決定

7年後の東京で

プールの改修方法

# 指定管理者制度 導入事例に 迫る



2003年の創設以来、関係者の話題をさらってきた指定管理者制度。自治体側、管理者側それぞれに試行錯誤しながら当初の課題を改善しつつ運用が進み、今や全国の多くの公共スポーツ施設が、財団法人、NPO法人、民間企業など多様な団体の指定管理者によって管理運営されている。2期目、3期目に入る事例も増え、当初とは異なる課題も生じているが、自治体・管理者双方の協力での改善が求められる。今年も、効果的・特徴的な指定管理者の管理運営事例を紹介していく。

## 元々の管理団体が分社化し体育施設を管理 親しみやすい運動公園づくりで地域に貢献

### 非公募から合併を経て 2期目は公募で

北広島町は、平成の大合併において近隣4町の合併により2004年に誕生した町である。広島県の北西部である芸北地域のほぼ中央に位置し、山県郡全体のおよそ2/3を占める。

北広島町豊平総合運動公園（以下、総合運動公園）は、旧豊平町が整備した公園で、総合体育館「とよひらウイング」や野球場「どんぐりスタジアム」、テニスコート、屋内ゲートボールコートといったスポーツ施設のほか、絵画館や豊平歴史民俗資

料館なども備える。また、大宴会場や売店・レストラン、宿泊棟も備えた「どんぐり荘」、北広島町の特産品販売や観光案内を行っている「さんさん市」などが隣接し、一帯はスポーツおよび交流、観光の拠点となっている。

旧豊平町が2005年に指定管理者制度の導入を決め、豊平総合運動公園の管理を委託していた財団法人とよひらふれあい公園協会を非公募で選定。旧豊平町と同協会が交わした協定では、指定管理期間は05年2月1日から10年3月31日までの5年2カ月であった。なお、05年2月1日には合併により北広島町が誕生し

ており、第2期の指定管理者業務については同町が公募を行い、再び財団法人とよひらふれあい公園協会が選定された（12年4月より一般財団法人どんぐり財団へ移行）。指定管理期間は10年4月1日から15年3月31日までの5年間である。

### 財団を分社化し 役割を明確に

一般財団法人どんぐり財団は（以下、どんぐり財団）、1989年1月、豊平総合運動公園のオープンに合わせて設立された財団法人とよひらふれあい公園協会が前身である。スポーツ施設にとどまらず、絵画館や資料館、飲食施設や宿泊施設、産地直売品売り場など多様な施設を備える豊平総合運動公園一帯を管理運営してきた。

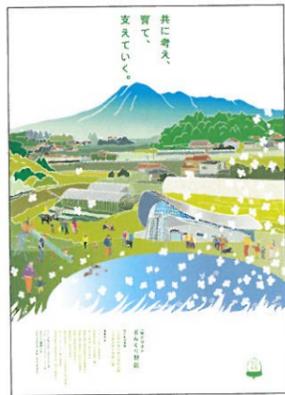
指定管理者制度への対応は、旧豊平町が決めた指定管理期間の前年に、日本体育施設協会外部評価制度を導入し、組織の公平・平等な評価を実施した。そして、2005年に当時の財団法人を分社化し、飲食および宿泊施設は株式会社、産直工リ

アは有限会社、公園管理エリアは財団法人が管理運営するよう役割を明確にし、財団法人が総合運動公園の指定管理者に選定された。現在はその業務をどんぐり財団に移行している。どんぐり財団は、「地域振興を地域住民と共に考え、育て、支えていく」をミッションとし、ビジョンに「北広島町内全域のスポーツ・健康増進・産業振興の拠点団体を目指す」と掲げている。

### ハード面の工夫で 利用の幅が拡大

指定管理者となって以降、総合運動公園内ではさまざまな取り組みが行われている。まず施設のハード面を見てみると、少しの改修と工夫で施設の利用の幅を拡大している。

どんぐり財団では、低コストで維持管理に手間がかからない芝生化を導入し、園内に芝生を拡充した。草っぱに近い状態であった野外広場は、緑一色の芝生広場へと変容し、子どもたちが思い切り遊んだり寝転んだりできる場所となった。また、屋内ゲートボールコート横の広場に



どんぐり財団のポスター



※赤地の施設が指定管理者業務の範囲

施設配置図

総合運動公園の利用者数（有料入場者数）は、'02年までは約4万5000人であったが、'03年に総合型地域スポーツクラブが設立されたこともあり、'11年には約11万人まで増加しているという。

総合運動公園の管理運営にあたり、どんぐり財団は常に「地域振興、

### 多くの地域住民に支持されるように

ではエアロビクス系の教室や親子体操教室など多様なプログラムを提供。親子体操教室では町内の多くの保育園児たちが体育館を訪れているという。1年に4回実施する園内のイベントは、スポーツだけに限らず、食をテーマとして行っており、その中では伝統芸能の踊りや、すべて地域住民の寄付（オーナー制）による花火大会なども行われ、「地域振興」という指定管理者の使命を実行するイベントとなっている。また、テニスコートでは元ソフトテニス世界チャンピオンの結婚式を挙行し、マスコミヤ一般利用者の注目を集めた。

を考えている。保育園などの地元の団体と組んで事業を行ったり、地元中学生が体育館のボランティアスタッフとして活躍することもあるという。また、冬場には野外広場にソリ専用スノーマウンテンを設置したり、スノーモービルを導入するなど、年間を通して常に何を提供できるかを工夫している。どんぐり財団の関与は専務理事は、今後も「スポーツだけの切り口ではなく、スポーツ人口以外の地域住民に自主事業を理解していただき、より多くの地域住民に支持されるよう努力を続けたい」という。

冒頭で述べたように、どんぐり財団では日本体育施設協会の外部評価を受けており、「地域貢献」と「安全基準」は高い評価となっている。ただし、毎回新たな課題をクリアしていくため、職員は緊張感をもって日々の業務にあたっており、利用者からのクレームはほとんどないという。今後もさらに工夫を凝らし、スポーツ振興、地域振興に貢献する拠点として存在感を増していくことだろう。

#### アリーナ利用料

種目	コート	料金(1時間)
バドミントン、卓球、バドミントン、ソフトバレー、ビーチバレー	1/8面	390円
バスケット1ゴール	1/4面	780円
バレーボール	1/3面	900円
バスケット2ゴール	1/2面	1,560円
フットサル	全面	2,790円

#### トレーニングルーム利用料

種別	料金
1回	340円(中学生170円)
回数券(11回)	3,400円(中学生1,700円)
1か月会員券	2,800円
3か月会員券	5,440円
6か月会員券	10,000円
12か月会員券	18,000円
シャワー(1回)	120円
レンタルシューズ(1回)	200円

※シャワー料金は、月会員は無料

#### その他施設利用料

施設	時間	利用料
テニスコート	昼間1時間	1コート670円
	夜間1時間	1コート1,670円
	ラケットレンタル	1本400円(ボール2個)
フットサルコート	1時間	1面4,500円
多目的広場 (グラウンドゴルフ)	平日	300円
	クラブ・ボールレンタル	200円
多目的屋内コート (バーベキュー)	1人(小学生以上)	200円
	グリル1台	1,000円

#### スタジアム・多目的広場利用料

種別・時間	種別・時間	午前(9~13時)	午後(13~17時)	1日(9~17時)
スタジアム	一般・大学生	8,000円	8,000円	16,000円
	高校生	6,700円	6,700円	13,300円
	小中学生	3,400円	3,400円	6,700円
多目的広場	一般・大学生	5,000円	5,000円	10,000円
	高校生	4,500円	4,500円	8,900円
	小中学生	2,300円	2,300円	4,500円

※本部席、スコアボードは別途料金



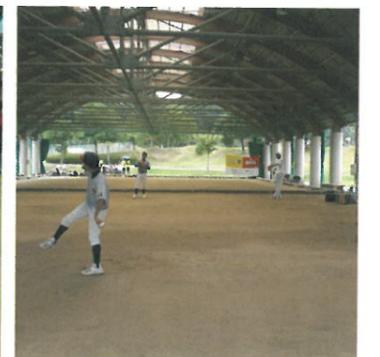
改装した会議室での教室風景



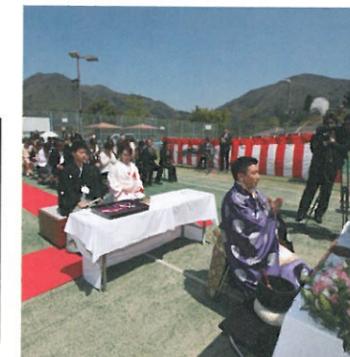
親子体操教室



芝生化によりフットサル場を設置



屋内ゲートボールコートでの野球教室



テニスコートで結婚式を挙行



地域住民の寄付で実現した花火大会

# TAIKU VISION

たいくビジョンが  
新たな施設づくりの  
可能性を広げます。

**スポーツ施設に特化したデジタルサイネージシステム**

「たいくビジョン」は、街中で広く見かけるようになったデジタルサイネージを公共施設向けに特化した新しい利用者サービスと地域活性のためのシステムです。1台1台施設の状況に応じた臨機応変な対応、施設側の負担を最大限に軽減する工夫を講じました。

**コミュニティ** 災害時に強みとなる  
地域コミュニティとしての施設づくり

**地域活性** 地域の活性化がより一層の  
施設の活性につながる

**情報提供** 信用性の高い情報を  
適切にわかりやすく

デモ版をご用意しております。たいくビジョンについてのお問い合わせは.....

株式会社 **体育施設出版** 〒105-0014 東京都港区芝 2-27-8 芝センタービル 1F 担当: 上野/広瀬  
☎03-3457-7122 FAX.03-3457-7112 E-mail: taiku\_vision@taiiku.co.jp

芝生を敷設し、天然芝でプレーできるフットサル場を整備。フットサルを行わないときは、犬のイベントなども受け入れている。

屋内ゲートボールコートには、天井や側面に防球ネットを張ることで、野球やソフトボールの練習、フットサルなどもできるようにした。実際にここで野球教室なども行っている。このことで、冬季でも施設が稼働することになった。さらに、屋内ゲートボールコートは壁のない（防球ネットあり）屋根付きの施設であり、バーベキューでも利用できるように施設を提供し、人気を博している。

総合体育館「とよひらウイング」でも、タイルの上にカーペットを敷き詰めて快適性を向上。また、会議室の床を改装し大型の鏡を設置することで教室事業を行うスタジオとしての利用もできるようにした。さらに、ピリヤード台や冷凍食品販売機の設置、掲示板でさまざまな情報を発信することで、館内の滞在時間の長期化を実現している。

教室事業については、屋外ではマラソン教室やミニテニス教室、屋内